



三校合同引き渡し訓練

5月9日(木)長山中学校区三校合同引き渡し訓練が行われました。引き渡しが必要な状況は、「学校から子どもだけで下校させるのは危険な状況」であり、災害や事件の発生を想定して訓練がおこなわれます。今年度も、保護者の方々のご協力により、スムーズな引き渡しことができました。

新年1月1日16時10分に石川県の能登半島で発生した能登半島地震は、日本でも稀な大きさの地震でした。引き渡し訓練を、親子で防災について考える機会にしていただければと思います。

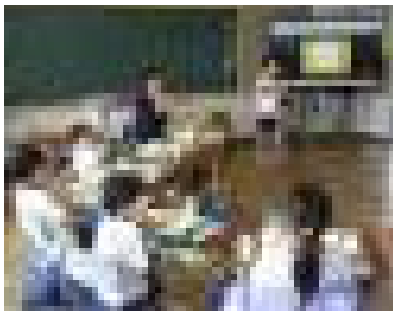
実際の災害時には、保護者の方が学校にお迎えに行く途中で被災するリスクもあります。学校では、ふだんの避難訓練などとおし「子どもを守る」ための対応を徹底します。保護者の方も「子どもを守るために自分の身を守る」という認識ももちつつ、引き渡し訓練など日々の防災対策に取り組んでいただけることを願っています。



いばっぺごはんの日

5月8日(水)は、「第1回いばっぺごはんの日」でした。

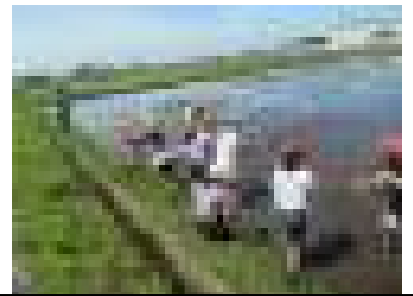
「いばっぺごはん」とは、龍ヶ崎市産を始めとした茨城県産の米、野菜、肉だけで作った献立です。子どもたちは、おいしい地場産物を味わいながら楽しく会食していました。3年生では、市議会議員さんをお招きした会食を行いました。



田植え体験の日

5月15日(水)は、「5年生の田植え体験の日」でした。

社会科の「米作りの盛んな地域」という単元を学習している5年生は、市内横田農場へ行きました。横田さんは、地元の小学生や地域住民を対象として、田植え体験や稲刈り体験などを行う「田んぼの学校」を開校しています。とても貴重な田植えの経験ができました。



小中一貫あいさつ運動

5月14日(火)は、「小中一貫あいさつ運動の日」でした。

長山中学校区では、中学生が各小学校に出向き合同であいさつ運動を展開しています。ついこの間まで小学生だった、お兄さんやお姉さんの成長ぶりにも驚かされます。



環境アドバイザー出前授業

4月30日(火)は、「環境アドバイザーによる出前授業の日」でした。

茨城県環境アドバイザーの先生を講師としてお招きし、カブトムシの幼虫と環境の関係を考える授業です。

幼虫の大きさや体温を測り、今後生育で環境についても考えていきます。

